

【30～39歳 扶養者限定】 R7年度 郵送健診について

自分の健康には関心があるものの、検査を受ける時間がなかなか取れない方に郵送健診をおすすめしています。ご自宅で便や血液などを採取し、問診票とともに郵送することで検査ができます。

【郵送健診の流れ】

1. 同封の郵送健診申込書に必要事項をご記入のうえ、ビックカメラ健康保険組合宛にお送りください（10月31日必着）。
2. 検査機関（日本健康増進財団）から、希望された各コースの検査キットと返信用の伝票等が届きます。
3. 検査キットの説明に従い、検体の採取をしてください。
4. 返送伝票等を利用し、検査機関に返送してください（11月15日必着）。
5. 検査機関から検査結果が届きます。

【ご注意】

1. 郵送健診を受診する場合は通院型の健康診断は受診できません。
2. 郵送健診を希望する場合、かんたん健診は必ず受診してください。
オプション検査については、希望する検査を追加することができます。
3. 検査費用はオプション検査も含め、全て無料です。
4. 検査キットを受け取った後にキャンセルを希望する場合は、未使用のまま検査キットを検査機関に返送してください。

【申込締切】 令和7年10月31日（金） 健康保険組合必着

【提出締切】 令和7年11月15日（土） 検査機関必着

□ かんたん健診（必須）

この検査では、すでに発症している、または体内で発症しつつある病態を知ることができます。生活習慣病を予防するだけでなく、メタボ予防としても役立つ検査で以下の検査項目を実施します。

1. 脂質検査（TG, HDL-Cho, LDL-Cho, T-Cho）
2. 肝機能検査（GOT, GPT, γ -GTP, ALP, T-Bil）
3. 糖尿病検査（HbA1c）
4. 腎機能検査（CRE, BUN, UA）
5. 身長・体重（自己測定・自己申告）
6. 血圧（自己測定・自己申告）

※令和3年度より血液項目を追加し、尿検査・腹囲測定は廃止しました。

【検査方法】 専用の針を用いて指先から血液を採り、キットに同梱されている機械ですぐに遠心分離します。問診票と一緒に送り返してください。



【裏面につづく】

オプション検査

□ 大腸がん検診

がんやポリープなど、腸の出血性疾患を調べます。便に付いている、肉眼では見えない微量の出血を測定できるため、大腸がんやがん化しやすいポリープなどの早期発見につながります。

【検査方法】 専用器具に少量の便を2日間にわたり2回採取し同封の問診票と一緒に送り返してください。



□ 子宮頸がん検診

・HPV（ヒトパピローマウイルス）検査

子宮頸がんのリスクが分かるため早期発見に繋がります。

【検査方法】 専用器具に子宮頸部（子宮の入口付近）の細胞を自己採取し、検査機関へ送り返してください。



□ 胃がん検診（以下の2つの検査から1つをお選びください。）

・ペプシノゲン検査

胃がんになる前の段階の変化（胃粘膜の萎縮）を見つけ出す検査です。X線検査では見つけにくい、胃がんの早期段階においても発見ができる検査です。

【検査方法】 専用の針を用いて指先から血液を採り、同封の問診票と一緒に送り返してください。

・胃がんリスク層別化検査（ABC検査）

「ペプシノゲン検査」と「ヘリコバクター・ピロリ抗体検査」の2種類の血液検査を組み合わせることによって「胃がんになりやすいかどうかのリスク」を調べることができる検査です。

【検査方法】 専用の針を用いて指先から少量の血液を2セット分（ペプシノゲン検査用とピロリ菌検査用）採り、同封の問診票と一緒に送り返してください。

